



平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 なとり

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 安宅 茂

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,210	3.1	1,545	30.2	1,525	30.5	1,026	37.0
28年3月期第2四半期	19,603	7.5	1,187	34.4	1,168	34.3	749	40.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 987百万円 (22.2%) 28年3月期第2四半期 807百万円 (41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	81.61	—
28年3月期第2四半期	59.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,115	18,214	56.7
28年3月期	30,521	17,334	56.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 18,214百万円 28年3月期 17,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,000	2.3	2,310	4.2	2,300	4.4	1,550	23.8	123.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	15,032,209 株	28年3月期	15,032,209 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,449,294 株	28年3月期	2,449,274 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	12,582,933 株	28年3月期2Q	12,582,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境の改善がみられる一方で、企業収益や個人消費は力強さを欠く状況で推移しており、英国のEU離脱の影響などにより国際金融市場に混乱が広がると共に、円高が進行し、今後の先行きへの不安は広がっております。

この様な状況の中、当社グループは、春夏新製品の市場定着と秋冬新製品の導入を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に引き続き取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高202億10百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益15億45百万円（同30.2%増）、経常利益15億25百万円（同30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億26百万円（同37.0%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第2四半期		当第2四半期		差引増減額・率	
		自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		増減額	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比	百万円	%
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	8,533	43.5	8,715	43.1	182	2.1
	畜肉加工製品	3,387	17.3	3,671	18.2	283	8.4
	酪農加工製品	3,688	18.8	3,837	19.0	148	4.0
	農産加工製品	528	2.7	514	2.5	△14	△2.7
	素材菓子製品	1,047	5.3	1,034	5.1	△12	△1.2
	チルド製品	341	1.8	255	1.3	△86	△25.3
	その他製品	1,925	9.8	2,030	10.0	105	5.5
	計	19,452	99.2	20,058	99.2	605	3.1
不動産賃貸事業計		150	0.8	152	0.8	1	1.1
売上高合計		19,603	100.0	20,210	100.0	607	3.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、「しっとり やわらかあたりめ」などの新製品が好調に推移し、「一度は食べていただきたい おいしいさきいか」や、シャキシャキ食感の「茎わかめ」なども売上を伸ばし増収となりました。畜肉加工製品は、テレビCMを放映中の「THEおつまみBEEF 厚切ビーフジャーキー」などのジャーキー製品が引き続き好調に推移したことと、「OTSUMAMI牧場 スティックカルパス」や、新製品の「チーズが入った粗挽きソーセージ」などのドライソーセージ製品も売上に貢献したことで増収となりました。酪農加工製品は、期間限定で発売した「チーズ鱈 うに味」、「チーズ鱈 えだ豆」などのチーズ鱈製品が売上を牽引し、増収となりました。農産加工製品は、沖縄県産超激辛とうがらし「アカハチ」を使用した「激辛柿の種&ピーナッツ」などは売上を伸ばしましたが、減収となりました。素材菓子製品は、酸味をマイルドにした新製品の「甘ずっぱいカリカリ梅 種ぬき」などが好調に推移しましたが、減収となりました。チルド製品は、ほんのり甘いなめらか食感の「クリーミーくちどけチーズたら 生クリーム」などが売上を伸ばしましたが、減収となりました。その他製品は、「うずらの味付たまご 燻製風味」などのレトルト製品や、「おつまみセレクション」などのアソート製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は200億58百万円（同3.1%増）となりました。

利益面では、売上増加に加え、為替が円高で推移したことによる調達コストの減少等により、売上総利益は66億91百万円（同7.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロールに継続的に努めたこと等により、対売上高比率は26.2%と前年同四半期に比べ0.2ポイント減少させ、52億40百万円（同2.0%増）となりました。

この結果、営業利益は14億50百万円（同32.3%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は1億52百万円(同1.1%増)、営業利益は95百万円(同5.1%増)となりました。

		前第2四半期		当第2四半期		差引増額・率	
		自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	%	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	%	百万円	%
連 結	売上高	19,603	100.0	20,210	100.0	607	3.1
	売上総利益	6,323	32.3	6,786	33.6	462	7.3
	販管費	5,136	26.2	5,240	26.0	104	2.0
	営業利益	1,187	6.1	1,545	7.6	358	30.2
	経常利益	1,168	6.0	1,525	7.5	356	30.5
	親会社株主に帰属する四半期純利益	749	3.8	1,026	5.1	277	37.0

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は321億15百万円(前連結会計年度末比15億94百万円増)となりました。

資産の部では、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建物及び構築物などが減少しておりますが、建設仮勘定、現金及び預金、原材料及び貯蔵品などが増加したこと等により総資産が増加いたしました。

負債の部では、未払金、短期借入金などが減少しておりますが、長期借入金の増加等により負債合計は139億1百万円(同7億14百万円増)、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は182億14百万円(同8億80百万円増)となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比0.1ポイント減の56.7%となっております。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、42億46百万円(前連結会計年度末比9億1百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億35百万円の収入(前年同四半期は10億69百万円の収入)となりました。主に、税金等調整前四半期純利益が15億27百万円、売上債権の減少が5億15百万円、減価償却費が4億50百万円あった一方で、法人税等の支払いによる支出が4億円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億13百万円の支出(前年同四半期は1億7百万円の支出)となりました。主に、新工場の建設費用の一部支払いと、既存工場における生産設備の導入等、有形固定資産の取得による支出が15億96百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億80百万円の収入(前年同四半期は7億23百万円の支出)となりました。主に、長期借入金による収入が16億円あったこと等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期
自己資本比率(%)	57.4	57.7	56.7
時価ベースの自己資本比率(%)	52.1	62.0	68.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	559.1	401.6	363.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	91.4	105.8	142.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

※「-」表示は、値がマイナスであることを表しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、平成28年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、下期以降において、いか等の不漁に伴い原材料価格が高騰する見通しであります。平成28年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,657,954	4,559,839
受取手形及び売掛金	6,796,281	6,280,350
商品及び製品	1,016,175	844,217
仕掛品	665,590	652,349
原材料及び貯蔵品	2,751,936	2,882,200
その他	328,194	307,403
貸倒引当金	△1,249	△1,240
流動資産合計	15,214,884	15,525,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,310,333	6,160,162
土地	5,361,405	5,361,405
その他（純額）	1,882,753	3,406,608
有形固定資産合計	13,554,492	14,928,176
無形固定資産	147,066	144,900
投資その他の資産	※1 1,604,785	※1 1,517,635
固定資産合計	15,306,344	16,590,712
資産合計	30,521,229	32,115,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,862,208	3,742,971
短期借入金	2,855,000	2,620,000
1年内返済予定の長期借入金	-	194,040
未払法人税等	433,738	518,369
賞与引当金	332,218	544,126
役員賞与引当金	36,000	18,000
その他	3,017,268	2,258,745
流動負債合計	10,536,433	9,896,253
固定負債		
長期借入金	-	1,341,280
役員退職慰労引当金	629,079	648,329
退職給付に係る負債	937,291	938,949
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,079,100	1,071,324
固定負債合計	2,650,389	4,004,802
負債合計	13,186,823	13,901,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	14,927,154	15,847,120
自己株式	△2,095,739	△2,095,772
株主資本合計	17,097,463	18,017,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,570	251,300
為替換算調整勘定	109,081	67,346
退職給付に係る調整累計額	△130,709	△121,263
その他の包括利益累計額合計	236,942	197,383
純資産合計	17,334,405	18,214,779
負債純資産合計	30,521,229	32,115,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,603,318	20,210,716
売上原価	13,279,329	13,424,034
売上総利益	6,323,989	6,786,682
販売費及び一般管理費	※1 5,136,919	※1 5,240,983
営業利益	1,187,069	1,545,698
営業外収益		
受取配当金	11,566	12,187
受取賃貸料	12,982	13,258
その他	19,911	23,422
営業外収益合計	44,461	48,869
営業外費用		
支払利息	10,239	10,387
賃貸費用	17,537	16,329
持分法による投資損失	34,662	36,186
その他	147	6,531
営業外費用合計	62,586	69,435
経常利益	1,168,944	1,525,132
特別利益		
固定資産売却益	1,768	-
投資有価証券売却益	2,077	3,275
特別利益合計	3,846	3,275
特別損失		
固定資産除却損	115	498
特別損失合計	115	498
税金等調整前四半期純利益	1,172,675	1,527,908
法人税等	423,000	500,987
四半期純利益	749,675	1,026,921
親会社株主に帰属する四半期純利益	749,675	1,026,921

【四半期連結包括利益計算書】

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	749,675	1,026,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,480	△7,270
退職給付に係る調整額	7,864	9,445
持分法適用会社に対する持分相当額	5,960	△41,734
その他の包括利益合計	58,305	△39,559
四半期包括利益	807,980	987,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807,980	987,361
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,172,675	1,527,908
減価償却費	446,497	450,985
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	165,548	211,907
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,500	△18,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,250	19,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,673	15,268
受取利息及び受取配当金	△11,618	△12,216
支払利息	10,239	10,387
持分法による投資損益(△は益)	34,662	36,186
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,077	△3,275
固定資産売却損益(△は益)	△1,768	-
固定資産除却損	115	498
売上債権の増減額(△は増加)	△86,368	515,930
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,979	54,934
仕入債務の増減額(△は減少)	247,217	△82,794
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155,036	△15,959
その他	△373,268	△776,128
小計	1,542,219	1,934,875
利息及び配当金の受取額	11,618	12,231
利息の支払額	△10,104	△10,743
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△474,701	△400,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,069,032	1,535,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,368	△1,596,995
投資有価証券の取得による支出	△16,139	△16,318
投資有価証券の売却による収入	3,133	12,216
その他	△17,472	△12,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,847	△1,613,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△394,000	△235,000
長期借入れによる収入	-	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△30,440	△64,680
自己株式の取得による支出	-	△33
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△191,940	△213,021
配当金の支払額	△107,024	△107,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△723,405	980,092
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	237,779	901,884
現金及び現金同等物の期首残高	2,895,640	3,344,905
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,133,420	※1 4,246,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	19,452,666	150,652	19,603,318	—	19,603,318
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,452,666	150,652	19,603,318	—	19,603,318
セグメント利益	1,096,498	90,571	1,187,069	—	1,187,069

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	20,058,459	152,257	20,210,716	—	20,210,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,058,459	152,257	20,210,716	—	20,210,716
セグメント利益	1,450,527	95,170	1,545,698	—	1,545,698

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
投資その他の資産	15,799千円	15,799千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
販売促進費	1,464,533千円	1,500,330千円
給料及び手当	1,229,487千円	1,237,423千円
賞与引当金繰入額	263,652千円	287,523千円
役員賞与引当金繰入額	15,500千円	18,000千円
退職給付費用	40,753千円	42,313千円
役員退職慰労引当金繰入額	19,250千円	19,250千円
貸倒引当金繰入額	△1千円	△8千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	3,446,468千円	4,559,839千円
預入期間が3カ月を超える定期預金	△313,048千円	△313,049千円
現金及び現金同等物	3,133,420千円	4,246,790千円